

登録コード	A3591345	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	加藤 新平	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					自身の研究の目的、方法、結果および考察を論理的に発表できる。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					自身の研究の目的、方法、結果および考察を論理的に発表できる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					自身の研究の目的、方法、結果および考察を論理的に発表できる。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					自身の研究の目的、方法、結果および考察を論理的に発表できる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。							
(5)授業計画	1 スライド作成の基礎 2 研究発表の基礎 3-15 自分の研究内容および関連する論文の内容を、スライドを用いて発表する。また、他者の発表を聴講し、研究内容について質問する。 ＊第15回の最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。							
(7)成績評価の基準	発表の内容、質問に対する受け答えおよび他者の発表に対する質問の状況で評価します。							
(8)事前事後学習の内容	自分の研究内容に関する発表については、日頃から準備し、発表後は受けた質問・コメントを基に改善してください。関連する論文の紹介については、内容を十分に把握した上で、発表資料を事前に準備してください。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	自分の発表60%、他者の発表に対する質問40%							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける。							
(12)履修上の注意	プレゼンに使用するスライドの作成等には時間がかかるため、計画的に取り組むこと。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）							